



えがおいっぱい'23号

日常って、やはり温かい

毎朝、子どもたちが登校してきます。当たり前のようにですが、実は当たり前でないと思っています。ご家庭の中でいろいろなドラマが起こっているはず。起きるのが遅かった朝、宿題を忘れた朝、朝ごはんを食べる時間がなかった朝・・・同じ朝などないはず。

そんな日常を当たり前のように、登校し過ごせていることは、もはや当たり前ではありません。

毎朝登校してくる子どもたちをみて、「今日も元気だね」「今日はどうつむき加減かな」・・・「違う方向から登校・・・」「あいさつなし・・・」子どもたちをみえています。

登校できるだけで100点です。日常は保護者様のたくさんの愛情でできています。温かい日常です。



めざせ！歩いて 1万歩

保護者様に送迎をできる限りご遠慮いただいています。少なくとも、相撲場がある駐車場でおろしていただくようにしています。

理由は

- 1 子どもは歩かないといけない存在 だからです
成長していく子どもたちは骨が成長します。骨の成長には刺激が必要なのはご存じのとおりです。歩くことは 骨の成長につながります
- 2 辛抱強さが育ちます
歩くと時間がかかります。思い通りにいきません。だからこそ、子どもたちは学ぶのです。我慢する心 忍耐力 そんな気持ちが育ちます。

車で送ることだけが愛情ではありません。このように将来を思い、励ましたり、なだめたりして子ども自身が成功体験を積んでいくことも温かい愛情と感じています。